

平成22年7月5日(月) 三角小学校 参加者35名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：三角小の耐震工事を昨年行ったが、せっかく足場を組んだので外壁をきれいにできたのではないか。

市 長：国は耐震補強を進めていて、補助金も手厚いのでまず耐震工事から行いました。今後、順次修繕を実施したいと思います。

参加者：近隣を見ても、どこでも庁舎はひとつ。2つあると不便で、旧上福岡の庁舎に行かなければならない。また、2つあると、人件費もかかっている。長く使用すると傷んでくるし、修繕をいくらしても元が悪ければ無駄なので、新しく庁舎を建設したほうがよい。

三角地域の道路がぜんぜん整備されていない。自衛隊の回りや八丁では、雨が降ると水で歩けない状況。昔は、役所の人間が見に回っていたが今は来ない。危ない所の木も切ってくれたが、今は言っても切ってくれない。市の職員の対応について、電話をしてもたらい回しにされたり、担当者がいないのでわからないと言われることが多い。民間では一人で4役も5役もこなす。一人何役もできるように、職員を育成していかないと人を増やしても対応はできない。

市 長：庁舎について一昔前なら、2つを潰して新たに1つを建設することも可能だったと思います。以前のアンケート調査では、2つを廃止して新たに一箇所に統合することに賛成が40.4%、反対が33.1%でした。財政的なものも踏まえ、公共施設適正配置計画と併せて考えてまいります。

ブロック塀に水の跡があったり、土のうが置いてあったりなど実際に自分の目で見ています。道路の件については、見回り頻度は、把握していませんが実態を調べてみます。

職員の対応がよくない、たらい回しが多いというのは、ほかの会場でもよく聴きました。民間では、「本社に行かないと分からない」では、お客様に他社に行かれてしまいます。職員の対応についても徹底し、一人で何役もできるようにしたいと思います。

参加者：かつて企業でISOなどをやっていたが、職員が現場を回っているか分からないとのことだが、把握、確認の方法としてチェックシートを作り、見回りをしているのか確認をしたらどうか。自治会でも防犯パトロールをしたかチェックシートで確認している。チェックシートを作ってはどうか。職員がデパートのように「おはようございます」などの挨拶ができていない。挨拶が出来なければいい仕事もできない。民間では接遇の訓練をしているから仕事をしている。挨拶ができないと周りが暗くなる。

市長：職員の見回りについては、実施はしているがどの位の頻度かは把握していないということです。

就任直後から挨拶の件については話しています。商店では後ろを向いて挨拶したら二度と来てもらえませんか。職員に「来ていただいている」との意識がないと「いらっしゃいませ」とは言えません。税金を納めていただいているという感覚、お客様は株主との意識が必要です。徹底します。

チェックシートの件について、職員はある事業を気にしていると別の事業が止まっているのに、やっているつもり職員が多く感じます。市長室には、ホワイトボードを持って来て、主要事業を書き出して進捗管理をしています。市役所の常識は世間の非常識と議員の時に思っていました。これからは議員から言われる立場なので変えていきます。

参加者：NTTの跡地にマンションが今2棟建っている。あと何棟建つのか。通学路の安全の確保はどのようにするのか。

市長：NTTの跡地の開発については、既に2棟建設しており、B地区が340戸、今後建設するA地区は663戸が計画されています。計画上では平成25、26年の入居予定ですが、このような景気の状態からかなり遅れています。通学路については、現状のものを使用してもらいますが、これから児童数が増えるので、それを見越した中で安全対策を図ってまいります。

参加者：西鶴ヶ岡からの道路について、安全面で大人の目から見ても危ない。冬は日暮が早く、茶畑の間を通らないとならないが、そこに変質者が出て危険。子供が増えてからやると聞こえる。

三ヶ島街道、一本入ったところの大井西中の方は、大雨の時の冠水がひどく、軽自動車では怖くて通れない。中学生も車も道の真ん中を通るので危険。ガードレールも信号も無く、車の走る勢いがある非常に危険。職員も歩いてみてほしい。早期に対応してほしい。

市長：人数が増えたら実施するのではなく、お金がないとできないということで、見た目の方は後回しになってしまいますが、先程の外壁の件のように、安全対策については財源の問題でなく優先してやっていきます。三角小に限らず、西中学校では崩れて鉄筋が見えているのでなぜかと聞いたら、危険なので崩したとのことでした。これからプール事故以来、実施している公共施設安全点検週間があり、いつも以上に安全点検を実施します。雨水の件でも子供が道の真ん中を通らなければならず危険とのことですが、実際に現場を歩いたことがあり、畑の土が側溝を塞いだりしているのを見て、着手できることは少しでも早くやってまいります。

参加者：富家病院のそば、大雨の時は歩けない。その中を学童の子供が歩いている。通学時も危険。また、速度制限もできないとのこと。かつては、営繕の係の人が見て回ってくれた。道路の管轄が変わって見に来なくなった。せめて大雨が降った後は来てほしい。

西鶴ヶ岡に向かう所に三角分館があり、そのところに2年前か3年前に信号機を付けると言っていたがいつ付くのか、至急付けてほしい。川越方面から上がってくる車が速度を上げて来るので危険。また、三角分館から三角小学校に向かう さん前の道は、幅が狭いので歩道は設置できないとのことだが、現場を見て考えてほしい。

マンション購入のため見に来た人が、三角小と西中学校を見たら子供を通わせたくないのでは入居しなくなってしまう。

挨拶をしない職員が多い。また、職員は、2年から3年で異動になるので受け答えができなくてもよいと考えているのではないかと。

市長：私も挨拶については同様に感じているので徹底します。

三ヶ島街道については、大雨の時に川のようになるのを実際に現場を見ましたので担当に話します

信号の件は、市内での要望箇所が50箇所あり、警察に何度もお願いしています。実態として東入間警察管内で1年間に多くても4、5か所というのが実態です。いつ頃付くという話はできません。

副市長：かつての市道が県道に格上げされたので、パトロールと拡幅は県に要望します。雨水対策については以前からの課題で、この調整区域は、市が開発を認めています。今後市の方で雨水をどうするのか、雨水を流す方面から検討しなければなりません。

県道についても優先順位があり、2年位前から県でも土木費が35%も削減されてその分が福祉施策に回っています。1箇所直すと用地費があるので5億円から7億円位かかり、3年位かかっていましたが、今は年に7千

万位しか予算が付かず7、8年かかってしまいます。今後も県土整備事務所にも強く要望していきます。

参加者：上福岡は農業後継者もないと聞くが今後の展望は。道路に砂利を入れてくれているが、砂利を車が跳ね上げて畑に入ったり、砂利の方が高くなり雨水が畑に入って作物が不作となる。この件も言ったが対応してくれなかった。緊急車両が通れる道路の幅はどの位と考えるか。1.8 mの道が20 m位あり、車両が通るにもギリギリで敷地に入ってしまう状況。国道、県道の整備もよいが、小さいところも見てほしい。

大風の時、土が軽く特に給食センターの辺りは土が道路に出てしまうので、大風の日に見に来てほしい。

茶の木について、伐採、茶虫対策としての消毒などいろいろ協力している。市民からの要望も聞いてほしい。

市長：農業の展望について、難しい問題と考えます。確かに後継者がいないのは事実と思います。首都圏30 km圏内の近郊都市農業として、あり方を考える必要があります。自然に恵まれた地域なので農業を継続してもらえればと考えます。国の制度・施策の問題などありますが、後継者が育成できるように農業団体などと話し合いの機会を持ちたいと思います。

緊急車両が通れる道幅は広いほど良いが、災害時を考えればある程度確保しないと駄目です。地域の長い歴史の中では、お互いに理解しながらやっていかなければなりません。

砂利の件は、担当に話しておきます。道路を通る側は良いが、畑の所有者は困るということも分かりました。土の問題については、土留めでは軽い土には対応できないので、そういうことも考えて対応できればと思います。

参加者：八丁地域がいつしか畑に建物が建てられるようになった。市役所に行ったら平成11年に建物が建つようになったと言われた。JAが土地を売ってくれと訪ねてきた。JAで契約書まで作ってきた。地権者は建物が建てられるようになったことを全く知らない。説明会の開催を依頼したが、やってくれなかった。議員を通して言ったら、2月に説明会が行われた。説明会を小さく4つに区切ってやった。それでは全体の意見が分からない。

8 m道路を作るのにも町がつくるので、隣地の承諾もいらぬと言われた。

参加者：平成11年の時に説明していない。突然そうだったのでみんな怒っている。

参加者：線引きする前に地権者との事前会議が何もなかった。住民との会議がなかったのはなぜか。

市長：地元の意向を聴いて進めていくのが普通だと思います。その当時どうして説明が無かったのかは分かりませんが。

参加者：8 m道路に2.5 mしか接道してもらえずに、開発ができないようになっている。いじめをされているようだ。

市長：この件については、個別に対応させていただきます。  
(タウンミーティング終了後に対応しました。)

参加者：西鶴ヶ岡の公園について。ブランコやジャングルジムが老朽化で撤去された。その時も何ヶ月もテープが巻かれただけで放置されていた。砂場は猫のトイレとなって汚くて、子供は遊べない。ふじみ野駅近くの公園は良く整備されている。古くからある公園もなんとかしてほしい。

中央公民館の大ホールに行った時、下を見たらホコリがひどく、何年も掃除をしていない状況だった。しっかり見ていただきたい。民間では職員が気付けばその人が掃除をする。公務員は自分の担当以外はやらない、職員も時間がある時は掃除をすべき。

大井給食センターの前を午後5時によく通るが、チャイムが鳴った時にはすでに車に乗っている。民間では有り得ない。民間では人手が足りなければ残業。仕事を回す人数しか雇わない。本当に仕事量と人数が合っているのか調査してほしい。

参加者：学童保育の会に子供を預けているが、来年から指定管理者になると聞いている。指導員など一所懸命やってくれている人のためにも止めてほしい。このまま継続できるようにお願いしたい。

参加者：川越市民ですが、子供が三角小に通学している。三角小学校の3分の1が川越市民で、あまり例はないが、一方的に川越市民が通っている。しかし、川越市の学童保育は公設民営なので、小学校に対しては委託金を出しているが、学童保育に対しては平成12年までお金を出していなかった。このことを川越市長へ直訴したところ、川越市から委託金を出すことになった。しかし、川越市の基準で出しているために金額が低い。安全に預けて、安心して働きたい。ふじみ野市から川越市へふじみ野市基準で出すように働きかけてほしい。

三角小学校には特別支援学級がない。三角小学童保育のハヤブサクラブには越境で鶴ヶ丘小学校の特別支援学級の子が来ている。鶴小学童は約70人と多くて危険なので来ている。発達障害の件で、三角小には空き教室が

あるので、障害児学級を作ってほしい。学童保育と発達障害に支援願いたい。

参加者：市内循環バスについて。以前こちらの地区では4便あったが2便となってしまい、お年寄りが医者に行けなくなってしまった。帰りの便もない。1日がかかりになってしまう。いつどのような形で決まったのか。確かにカラの時もあるが、無くなってしまうと不便。

参加者：農業の展望について。以前と比べて野菜が半値となっている。中国製の冷凍物が原因。農業振興地域ではないから機械化の補助等もない。若い世代のためにも補助等をなんとかしてほしい。

市長：公園の件についても現場を見て対応可能なものはやっています。給食センターも現場を見ます。国の公務員改革などももっと実施してほしいと思います。

学童保育の件について、子どもは環境の変化が問題で、人がくるくる変わらないことが必要なので、影響を及ぼさないよう指定管理者と行政の協定項目などでその辺を考慮したいと思います。

地権者との関係で鶴ヶ丘小は遅れましたが、来年春にはもう1か所学童保育所を野外活動広場の所に開設できます。

発達障がいとの関係で、特別支援学級の介助員の配置も近隣と比べて手厚く対処しています。

循環バスは、バスの台数を変えずに拡大したので、少なくなったのは申し訳ないと思っています。議会の議論の中では廃止の意見もありました。年間2千8百万円かかっている、延べ人数で年間2万8千人しか利用がないのが実態です。すでに合併後4年間実施しているので、現在までで1億1千2百万円支出しています。特定の地域だけだったものを市全体に広げる必要がありました。秋には調査するので、その結果などから今後改善してまいります。

農業の件は、地域に出向いて皆さんの意見を聴かせていただきます。

21:18 閉会